

令和2年9月定例会会議録

(令和2年9月29日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 9月定例会会議録

- 【開催日】 令和2年9月29日（火）
- 【場所】 八代市千丁支所2階 庁議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
富田 壽人 教育委員
松永 松喜 教育委員
水田 千春 教育委員
奥村 留美子 教育委員
- 【出席職員】 松岡 猛 教育部総括審議員兼次長
和久田 敬史 教育部次長
松川 由美 教育政策課長
高嶋 宏幸 学校教育課長
竹下 圭一郎 教育施設課長
岩崎 龍一 生涯学習課長
入佐 正夫 教育サポートセンター所長
松村 哲治 博物館未来の森ミュージアム副館長
西村 久美 生涯学習課主任
- 【事務局】 山本 雄二 教育政策課長補佐兼教育政策係長
西村 妙子 教育政策課参事
- 【審議事項】 <議案案件>
①八市教委議第31号 八代市立図書館協議会委員の委嘱について
<報告案件>
①報告第21号 令和2年度7月・8月・9月補正予算の概要について
②報告第22号 令和3年度八代市立幼稚園の園児募集について
1. 開会 (午後1時57分 開会)
2. 会議録承認 令和2年4月臨時会①、4月臨時会②、4月定例会、4月臨時会③
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題

〈八市教委議第31号〉 八代市立図書館協議会委員の委嘱について

岩崎生涯学習課長 委員の任期満了により新たに委員を委嘱する。委嘱期間は、令和2年10月1日から令和4年9月30日までとする。

質問等なし

【議案第31号 承認】

〈報告第21号〉 令和2年度7月・8月・9月補正予算の概要について

和久田教育部次長 資料により説明

7月補正予算分（7月20日専決処分）

●小学校管理運営事業（豪雨災害）
桜十字ホールやつしろの会場使用料等に係る経費

8月補正予算分（8月7日専決処分）

●新型コロナウイルス感染症対策事業
学校施設の消毒に係る経費

●小・中学校管理運営事業（豪雨災害）
設置型エアコンのレンタルに係る経費

●就学援助事業（豪雨災害）
学用品費や給食費等の援助を行うための経費

9月補正予算分（9月15日可決）

●新型コロナウイルス感染症対策事業（小・中・特別支援・幼）
備品購入等の経費

●新型コロナウイルス感染症対策事業（図書館）
図書消毒器を設置するための経費

●新型コロナウイルス感染症対策事業（博物館）
館内の湿度管理のための除湿器購入に係る経費

質問等なし

〈報告第22号〉 令和3年度八代市立幼稚園の園児募集について

高嶋学校教育課長 本年度設置する八代市立幼稚園規模適正化等審議会において今後の幼稚園の適正な在り方等について審議していただいた後に八代市立幼稚園規模適正化計画を作成し、今後の幼稚園の在り方を示していくこととなったため、令和3年度の八代市立幼稚園の園児募集については、「八代市立幼稚園の園児募集

の基本方針について（平成22年9月22日教育委員会可決）」を適用しないこととする。

北岡教育長 龍峯幼稚園についての方向を考える際に市立幼稚園として幼児教育に必要な園児数を検討し、決定した基本方針である。この基本方針を適用すると、審議会を設置して審議をしている間に基準を下回ったときには、休園となってしまう、混乱することが想定されるため、当該方針を適用せずに進めたいと考える。

松永教育委員 適用しないことに賛成である。今後を検討する審議の途中で休園という結論を出すと審議会の委員も迷ってしまう。園児数が少ない幼稚園の保護者が、18人という基準は、集団学習をするのに必要な数であるということを知らずに、コロナ禍の中で危機感を持って勧誘に回られていると聞いている。保護者や園長に説明してもらおうとまた違ってくると思う。このような重要なことは、方針を決めるときなど臨時会を開催していいと思う。

北岡教育長 昨年度、園児募集をして18人未満であっても1年間は休園にはならないと当時の保護者には、各園から話をしてあったが、通っている園が休園になることを危惧されている方もおられると思うので、そういうところには丁寧に進めていきたい。

奥村教育委員 八代市における就学前教育における重大な位置づけとして、たとえ園が減っても幼稚園教育そのものの存続・ありようは、重要なことではないか。親のニーズに合わないことで、園が減少していくことは寂しいと園訪問でも話をした。根本的には方針の存在は大きかったと思う。審議会でもまた幼稚園経営の今後の在り方についても検討していかれるのか。

高嶋学校教育課長 今後の幼稚園の適正な在り方を総合的に広く審議していくことになると考えている。

奥村教育委員 この基本方針を見直して、新たな方法で審議していくこと、保護者に周知していくということは、賛成である。この基本方針が審議された時も、18人という数や状況は教育委員会で深く審議された結果と思う。今年度以降の審議会でも数や決まり事は、少なくとも数年間は適用できるような中身を検討されると思う。前回の方針を適用しないということの意味づけをきち

んととらえたい。

北岡教育長

この方針をなくしてしまうということではなく、募集して仮に18人以下だった場合は、方針が適用されると休園になる。6園残すのか、規模適正化が必要なのかを審議する上でこの休園している状況が大きな前提とならないように、方針を適用しないこととしたい。また、1学年6人という基準は、子供がコミュニケーションをとるのに、最低でも3人のグループが複数必要であるため、6人がいないと幼児教育・子供の育ちが制限されてしまうのではないかとこのところからきていたと思う。

奥村教育委員

今回のこのことで、八代市における幼稚園教育の数は限定されてきているがとても重要な教育分野であるということがより広く再確認される機会になる。また、園を利用しようとする保護者にとってもより周知を図ることが今回のことで、充実させられる。という二つのことを確認したい。併せて、基本方針はどのような性質のものになるのか。もめごとが起こらないよう約束事を決めていくので、基本方針がどこをどうしぼるのか。又は教育基本法及び教育振興基本計画のような位置づけになるのか。前回までは幼稚園は厳しくなるという考えしかなかったが、これがあることで、検討していただけるので幼稚園も助かると思う。

水田教育委員

教育長報告の中にあつた幼稚園の未来を考える会の方の要望はどのような内容だったのか教えてほしい。

高嶋学校教育課長

要望書の中身は、①長期休暇中の預かり保育の保育実施 ②通常保育時の預かり保育の時間帯 ③幼稚園の情報発信について ④幼稚園の存続についてだった。

水田教育委員

②通常保育時の預かり保育の時間帯は、時間を長くして欲しいということか。

高嶋学校教育課長

現在の1時間程度をもっと長くしてほしいとのことだった。

水田教育委員

④幼稚園の存続については、6園全部の存続についてか。

高嶋学校教育課長

(要望書読み上げ) 文面からいくと、幼稚園教育自体の存続について、危惧されていると思われる。

富田教育委員 ③幼稚園情報発信について、保育園と幼稚園の違いがわからない方がいる。丁寧に詳しく多くの人に情報発信する必要があるのではないか。

高嶋学校教育課長 要望書の中にも、紹介パンフレットの作成やSNSを活用し、保育園にはない幼稚園の良さを具体的にアピールしたらどうかを提案してある。

水田教育委員 幼稚園に子供を預けていた保護者の意見として、幼稚園の先生の教育方針は素晴らしいものがあると園訪問のたびに実感している。先生方を育てるという意味で、幼稚園の存在は大きい。これを受け継いでいくには、幼稚園が必要で、幼稚園があることで、素晴らしい人材が育っていくので、私自身も存続してほしいと思っている。素晴らしい先生に育てられて、心豊かな子供に育っていったのではないかと。幼稚園の未来を考える会の要望は、幼稚園に存続してほしいし、幼稚園が大好きだという気持ちがあるのだろうと思う。丁寧に、審議をお願いしたい。

富田教育委員 保育園を卒園した子供たちは、学校帰りに保育園に寄って園児たちとよく交わっているが、幼稚園については、そのようなことがないため、門を開くということが幼稚園にもある程度必要ではないかと思っている。

松永教育委員 このような重要案件は、市長にも知ってもらって市長部局と教育委員会の考えが異なることのないよう配慮をお願いしたい。

奥村教育委員 幼稚園を知ってもらう時に、他を否定的に言うような説明をしてはいけない。幼稚園のよさ、保育園のよさを知る機会がないため、丁寧に大切にしていくことで、幼稚園の特性、保育園の特性が伝わっていくのではないかと。個性特性を含めた幼稚園のよさを知る機会が早く広まるといいなと思った。

北岡教育長 よく知ってもらうための周知方法やPR力が必要だと感じる。ほかになれば、審議会がある間決定するまでは、18人を下回っても、休園しないということにしたいと思う。

5. 連絡事項 教育政策課 第2回外部評価委員会について
学校教育課 学校・園訪問について

教育サポートセンター 八代地区科学発明展について
博物館 無料観覧について
事務局 10月定例会日程確認(10/20 14:00~)

6. 会議録署名委員 富田委員・水田委員
の指名

7. 閉会 (午後3時5分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
